

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長岡京市長岡2丁目集合住宅	階数	地上5F
建設地	長岡京市長岡2丁目241-1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 0.0	評価の実施日	2010年7月8日
敷地面積	1,465 m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	970 m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	2,909 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 94%
 ③上記+②以外の 94%
 ④上記+ 94%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 5.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	セキュリティの充実や防犯設備の設置をし、バリアフリーに配慮しました。	その他 特になし。
Q1 室内環境	遮音サッシ等(T-1)を設置し住み良い住環境に配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化につとめ、周辺住宅環境との調和を図りました。
LR1 エネルギー	断熱に配慮しながら、省エネにつとめました。	LR3 敷地外環境 特になし。
Q2 サービス性能	バリアフリー法に対処して動線の円滑化を図りました。防犯窓や、ITV等の設置により、セキュリティに配慮しました。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器を設置し水資源の節約に配慮した。また断熱材にはノンフロン製品を採用しました。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される